

敬老乗車証を



守るろ!

京都市は、8月15日付の市民しんぶん（区版）に、「敬老乗車証制度の現状や課題について」のチラシを挟み込んで配布しました。また、敬老乗車証にかける京都市の負担額をどうするか、高齢者の負担割合をどうするべきかについてのみの市民アンケートを行っています。

京都市は乗るたびにお金を払う「応益負担」に変えようとしています

- ・自由に乗り降りできる現在の制度は廃止
- ・交付時の負担はなくし、乗るたびに「運賃の一部を負担」する
- ・たくさん使う人には定期券を安く買えるようにする

（「敬老乗車証制度の今後の在り方に関する基本的な考え方」（2013年10月）より）



使うほど負担が重くなり、利用にブレーキがかかるのではないのでしょうか。



京都市に意見を届けましょう

9月22日（金）まで



京都市は、「本制度に関するご意見をぜひお寄せください」と意見を募集しています。

住所：〒604-8171

京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル2F

宛先：京都市保健福祉局

健康長寿のまち・京都推進室 介護ケア推進課

Fax：661-5855

Mail：kaigohoken@city.kyoto.lg.jp



敬老乗車証は市民の「宝」

敬老乗車証は、1973年「高齢者の社会参加を支援し、もって高齢者の福祉の増進に寄与すること」を目的にはじまりました。「長年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に敬老の意を表するとともに、様々な社会活動に参加し、生きがいづくりや介護予防に役立てていただくため」に発行されています。

敬老乗車証の効果は明らか

名古屋市では
効果を積極的に検証し
制度を守っています。



社会参加の効果

敬老乗車証の利用で
28%外出回数が増えます。

健康増進の効果

最寄りの地下鉄、バス停まで
歩くことで歩数が1400歩増加。

経済への効果

敬老乗車証を使って外出し、
経済効果は316億円。

環境負荷の低減効果

自動車利用を抑制し、二酸化
炭素の排出量が6500トンを削減。

横浜市でも

「社会参加支援」「移動に係る経済的支援」「公共交通機関の利用促進」「介護予防と健康増進」「買い物など経済効果」「街の活性化」など示し「便利なフリーパス制度としてこれからも安心してご利用いただけます」としています。



85才と83才の両親が
元気でいられるのは
自由に使える敬老乗車証の
おかげです。

ギリギリの年金生活の中で、
生きがいや社会参加を
するための命綱の制度です。
家族に気兼ねなく出かけられます。



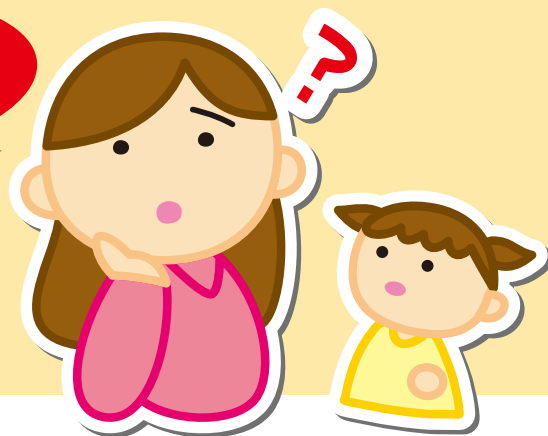
ボランティアをしていますが、
改悪されたら回数を
減らさなければなりません。



保育所2万4千人分？

京都市は「(敬老乗車証に使っている)46億円の本市負担額で保育所を整備すると、2万4千人分に相当します」と宣伝しています。これには子育て中の方からも「高齢者と子育て世代を対立させるのか」「これが市のやることですか」と疑問の声が上がっています。どちらも大切な福祉の制度。充実させるために力をつくすのが市の役割です。

どちらも
大切なのに



対立や分断でなく、福祉を充実させる京都市に



ご意見をお寄せください

日本共産党京都市会議員団

〒604-8571 京都市中京区河原町御池 京都市役所内

TEL **222-3728** FAX **211-2130**

E-mail • info@cpgkyoto.jp <http://cpgkyoto.jp/> **検索**

日本共産党京都市会議員団は、以上の見解を発表しました。